

科目区分	専門教育科目	授業科目名	保育実習Ⅰ（施設）			科目コード	26Y503	担当者	織田 芳人、本村 弥寿子、中村 浩美、船勢 肇、野田 章子、山中 慶子、三原 ミヨ子、小槻 智彩、宮崎美緒子			担当形態	複数
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	秋学期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士必修		
授業形態	実習	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連									科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	学内で修得した内容をふまえ、児童福祉施設などの役割や機能を、観察や子どもとのかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、保育士の業務内容や職業倫理について総合的に学ぶ。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	実習事後指導、実習報告会を行い、保育・教職実践演習で振り返りを実施している。
授業の方法	学外実習（児童養護施設等1年次12月または3月に10日間、保育所実習2年次8月に10日間）	アクティブ・ラーニングの実施方法	各実習施設の実習指導責任者のもと、保育等の実際を体験する。

授業計画		事前・事後学修	
<p>1. 施設 実習期間：1年次 12月又は3月 10日間</p> <p>児童福祉施設等における生活支援や各種作業を通して、利用者の実態を理解し、実践につなげる。</p> <p>a. 各施設における基本的な勤務態度・姿勢を理解する。 b. 職業上の倫理に基づいた関わりの姿勢を身に付ける。 c. 利用者の姿を観察してに記録する。</p> <p>2. 保育所 実習期間：2年次 8月 10日間</p> <p>観察、部分実習を行いながら子ども理解の基本を学ぶ。一人一人の子どもの発達過程を踏まえながらおこなう保育の実際について理解し、実践につなげる。</p> <p>a. 各保育所の保育方針や特色を理解し、1日の保育の流れ及び施設・設備の状況を把握する。 b. 乳幼児の生活や遊びの様子を観察したり触れ合いながら、一人一人の子どもの発達、個性を理解しようとする。 c. 乳幼児と保育者との関わりの様子を観察し実践につなげる。 d. 短時間の部分実習を計画し実践する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>希望実習園調査</li> <li>実習園事前訪問報告書の作成</li> <li>実習課題の記入</li> <li>園長講演会報告書の記入</li> <li>実習報告書の記入</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>実習園事前訪問報告書の作成</li> <li>実習課題の記入</li> <li>園長講演会報告書の記入</li> <li>実習報告書の記入</li> </ul>	
		事前・事後学修時間	90分

教科書 [書名／著者名／出版社]	教育・保育実習の手引き、これからの時代の保育者養成・実習ガイド／大豆生田啓友・渋谷行成・鈴木美枝子・田澤里喜／中央法規	受講生へのメッセージ	保育実習は、あなたが目指している職業を実際に確認する機会でもあります。保育実習指導Ⅰで学んだ内容をふまえ、実りのある実習になるように頑張ってください。
参考書 [書名／著者名／出版社]	なし		

